

令和6年度 和歌山市立有功東小学校 スクールプラン

校長名 小林 和歌

作成日 令和6年 5月 1日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供に学力をつけてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ってほしい
- 地域を好きな子供になってほしい

【学 校 教 育 目 標】 自らの世界を切り拓こうとする主体的・ 創造的な子どもを育成する

【めざす児童（生徒）像】

- ・追求する子
- ・自己を見つめられる子
- ・共に伸びる子

前年度の学校評価

- 授業改善に取り組んでいる。
- 子供は楽しく学校に通っている。
- 地域学習に取り組み、地域と連携がとれている。
- 自分から挨拶ができる子供をもっと増やしたい。

児童（生徒）の実態

- 落ち着いて学習に取り組んでいる。
- 体験活動は意欲的であり、探求しようとする姿がみられる。
- 粘り強く取り組む力が弱い。
- 学習がなかなか定着せず、個別の対応が必要な児童が各学級に見られる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の定着
- ◎子供主体の学習 の推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習の充実

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止・早期発見
- 仲間づくりと集団での活動の推進

健やかな体の育成

- ◎体力向上の取組の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携推進
- ◎地域の資源活用の更なる推進
- 中学校区における学校間連携の推進

具体的な取組

○和歌山の授業づくり基礎基本3か条（めあて、言語活動、振り返り）を徹底させた授業を行う。家庭学習、帯の時間、放課後学習、読書推奨で基礎学力をつける。
○学習課題を明確にし、主体的対話的で深い学びが実践できるよう心がける。子供が主体的に学び、意欲的に取り組む生活科・総合的な学習の単元づくりに努める。
○学校図書館の常時開放
○家庭の協力を呼びかけ、家庭学習の習慣化を図る。

○道徳の授業の工夫改善に努め、よりよく生きるための道徳性及び道徳実践力を身に付けさせる。情報モラルやネット社会の危険性について学ぶ機会をもつ。
○いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期対応に努める。
○一人一人の良さを認め合い、どの子も安心できる学級づくりに努める。

○体育科の授業の充実を図り、子供の体力向上に努める。運動に親しむ機会を推進し、運動器具等の環境整備に努める。
○外遊びを推奨する。
○学期ごとに生活チェック週間を設け「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。
○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

○学校便り、HP、地域共育便り等を通して、学校の考えや学校・学級の様子を積極的に発信する。
生活科・総合学習における地域学習を通して、地域の歴史や地域の方々の素晴らしさを知り、地域への愛着を育む。
○「地域先達事業」を推進し、放課後学習や遊び、授業の支援等、地域の方々と共に学校づくりを行う。
○小中連携した学校運営協議会を推薦し取り組みを進める。

指標

・全国学力・学習状況調査で正答率が県平均を上回る。
・よくわかる授業、子供主体の授業を実践したと思う。（児童80%）

・学校が楽しいと感じる（児童90%）
・学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる。（保護者80%）

・朝ごはんを食べた、（児童100%）
・避難訓練や交通安全教室など計画し、実践する。

・学校の様子がよく伝わった。（保護者80%）
・地域資財を生かした学習ができた（教師80%）

◎：特に重点的に取り組むこと